



国際シンポジウム 大学における 研究データサービスの導入と展開

日本では学术论文や根拠データの即時オープンアクセスの方針が示され、各大学においてもオープンアクセス加速化事業のもとに、それらの環境・支援体制の整備を進めることが求められている。本シンポジウムにおいては、日本の大学においてオープンアクセス、研究データ管理・公開に関してどのような支援が必要なのか、またそれらを実現するために必要な組織的基盤、人的基盤、情報基盤とは何か等について、海外での研究データサービスを提供している実務家を招き議論する。

2024.10.11 **金**
13:00~17:00

参加費 無料・要申込

エントリーはこちらから→
申込締切：10/9（水）



定員 対面：80名 オンライン：200名

ハイブリッド開催（同時通訳あり）

オンサイト会場：九州大学伊都キャンパス
稲盛財団記念館 稲盛ホール
（キャンパスマップ52番）



主催：九州大学データ駆動イノベーション推進本部
（研究データ管理支援部門）

共催：九州大学附属図書館、
九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
後援：九州地区大学図書館協議会

このシンポジウムは、国立情報学研究所等による研究データ管理スタートアップ支援事業の助成金を活用して開催しています。

プログラム

12:30 開場

13:00-14:15

・趣旨説明 石田栄美

（九州大学データ駆動イノベーション推進本部研究データ管理支援部門教授）
・学術図書館における研究データサービスの変遷：パーデュ大学、ミシガン大学、ニューヨーク州立大学バッファロー校での経験から Jacob R Carlson氏
（ニューヨーク州立大学バッファロー校図書館 研究・コレクション・アウトリーチ担当アソシエイト・ユニバーシティ・ライブラリアン）

14:25-15:45

・エディンバラ大学における研究データマネジメントの開発、運用、評価、及び内容 Robin Rice氏、Simon Smith氏
（エディンバラ大学図書館・大学コレクション部門データライブラリアン兼研究データ支援サービス部長 / エディンバラ大学図書館 大学コレクション部門研究データ支援オフィサー）

・日本の大学におけるオープンアクセス及び研究データ管理・公開支援の課題 竹内比呂也氏
（千葉大学副学長・附属図書館長）

・九州大学における研究データサービスの課題 富浦洋一
（九州大学データ駆動イノベーション推進本部研究データ管理支援部門長）

15:55-16:55

・パネルディスカッション

17:10-18:00

・情報交換会